

四つのテスト

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急スクエア 6 階

TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174

URL <https://www.takatsukirc.org/>

E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

例会場 高槻阪急スクエア 6 階多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 長山正剛 幹事 飯田哲久 クラブ運営委員長 大木城司 会報担当副委員長 堀部直子

No.21 2025 年 12 月 21 日 発行

12 月は疾病予防と治療月間

第 3430 回 本日 (12/21) の例会

日時・例会場変更2025 年 12 月 21 日 (日) 18:00~ (於: 山水館)送迎バス: アルプラザ 1 階玄関前 17:30 発

- ◎ ソング・・・我等の生業
- ◎ 例会後の行事
忘年家族例会

※2025 / 12 / 31 (水)は、定款による休会

第 3431 回 次回 (1/7) の例会

謹賀新年

2026 年 1 月 7 日 (水) 12:30~14:30(受付 12:00~)(於: ホテルアベストグランデ高槻)

高槻 3 RC 新年合同例会

ホスト: 高槻ロータリークラブ

- ◎ 国 歌・・・君が代
- ◎ ソング・・・奉仕の理想
- ◎ 閉会ソング・・・手に手つないで

前回 (12/17) の例会から

◎ゲスト・ビジター

計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
48 名	36 名	81.82 %
前々回例会補正後出席率		97.73 %
但し、Mup 6 名 欠席者 1 名		
出席規定適用免除有資格者 4 名		

◎副会長の時間

(タイトル: 例会と出席率)

1. ロータリーの例会

- ・毎週 1 回、決められた日時、場所で開くことを義務付けられています。
- ・理由があって取り消すことができるが、月に 2 回は開かねばならないとあります。
- ・正当な理由として、祝祭日のある週、会員の葬儀、天変地変、などがあります。
- ・2660 地区で調べてみると、ほぼ全クラブが週に 1 回を維持しています。例外として高槻東さんが月に 3 回としておられるのと衛星クラブで月 2 回としておられるのが 2 クラブあります。

2. 例会出席率と会員身分

- ・年間を通じての出席率が 50%を下回ると会員身分を失います。
- ・メークアップ制度があって他クラブへの出席、地区行事、理事会承認の行事に出席した場合など、出席回数に加算されます。
- ・私の場合、昨年は写真撮影で月に 1 回は休んでおりましたが、行事には積極的に参加しておりまして、年間優秀出席表彰を受けています。

3. クラブの財務状況と例会

- ・最近、当クラブの財務状況が苦しくなっており長期戦略委員会や理事会で議論される中、例会の回数を減らしてはという意見があります。
- ・例会を 1 回開くと約 15 万円かかります。半分にすると年間で 100 万円弱の費用が浮くということです。
- ・実際、大阪ロータリークラブでは出席率が 65%程度なので、毎回例会費が浮いており 1 億円以上の積立金を持っておられます。ただ、これは少しおかしいと思います。

よいことのために手を取りあおう

フランチェスコ・アレツォ RI 会長

4. 出席免除について

- ・以前、会員の年齢とクラブへの在籍年数を足して85以上になれば出席免除の資格が与えられました。
- ・しかし、2016年の規定審議会で“おおそ20年の会員歴があること”という文章が入り、厳しくなりました。私の場合、あと2〜3年で取得できと思っていたのに85歳になるまでダメになりました。
- ・このように、2016年の規定審議会はロータリーの柔軟運営を打ち出しましたが、本質のところは厳しくしています。つまり、例会出席を非常に重要と考えています。

5. 終わりに

- ・昨今、多くの会員の皆さんが毎週の例会出席に苦労しとられることを承知しています。幸いメイクアップ制度がありますので、これを利用して出席率を上げる工夫をしてもらえればと思います。

ロータリーに入会いただく時、皆さん“少しは社会に貢献しよう”と考えられたと思います。奉仕活動に参加されることにより、ロータリー人生に新しい魅力を感じてもらえると思います。

◎幹事報告

- ・「2025-26年度IM第2組ロータリーデーのご案内とお願い」が届いております。一色清氏（ジャーナリスト）に「逆流する世界の行方」という演題でご講演頂き、テーブルミーティングによりロータリアンの親睦を図りたいと考えております。本日ご案内のチラシを例会ポケットへ配布しております。回覧を回しますので、出欠のご記入を宜しくお願い致します。

【日 時】2026年2月28日(土)13:30～16:15

(受付開始13:00)

【場 所】新大阪江坂東急 REI ホテル

【登録料】クラブ負担

- ・「2025-26年度IM第2組フレッシュロータリアン研修会のご案内とお願い」が届いております。フレッシュロータリアン研修会は、ロータリークラブ入会5年未満の会員を対象にしています。前半部分は古城紀雄氏(千里RC)、西川正一氏(大阪淀川RC)、上本博氏(吹田RC)のガバナー補佐経験者をパネラーに迎え「ロータリークラブに入会して役立ったこと」等をテーマにパネルディスカッションをする予定です。また、後半は昼食をとりながら参加者で親睦を深めてもらうよう予定しています。ロータリー歴の浅いロータリアンの皆様にとって有意義な時間になると確信します。回覧を回しますので、入会5年未満の会員の皆様は、出欠のご記入を宜しくお願い致します。

【日 時】2026年2月28日(土)10:30～12:15

(受付開始10:00)

【場 所】新大阪江坂東急 REI ホテル

【登録料】2,000円(昼食あり)

※フレッシュロータリアン研修会終了後に、IMロータリーデーがあります。

- ・高槻城公園芸術文化劇場よりイベントのチラシが届いております。受付に置いておりますのでご自由にお持ち帰り下さい。

◎委員会報告

○クラブ研修委員会

上田 浩一

- ・今月は「疾病予防と治療月間」です。ロータリーの友12月号の推奨記事として、横書きの記事からは、P.2「RI会長メッセージ」、P.5「特集 ロータリー談話 前編」、P.14「RPIC×『ロータリーの友』特別企画」、P.22「ロータリー日本財団」、縦書きの記事からは、P.4「日本生まれ、世界育ちの母子手帳」をご紹介させていただきます。お時間のある時にぜひ読んでいただければと思います。

○クラブ運営委員会

古賀 照彦

- ・12/21(日)山水館にて忘年家族例会を開催致します。例会がございますので、ジャケットとロータリーバッジ着用でご出席をお願い致します。送迎バスは、アルプラザ1階玄関前17:30出発となります。バスをご利用の皆様はお時間に余裕をもってお集まり下さい。宜しくお願い致します。

◎卓話「中長期クラブ戦略委員会・上期中間報告」

河合 一人

会員の皆さんこんにちは。本日卓話担当の河合です。今日のテーマは「中長期クラブ戦略委員会・上期中間報告」となっています。これは11月度定例理事会に報告した際、会員の皆さんにも詳細に報告・説明する様、依頼を受けてのものです。

少し堅苦しい内容となるので、退屈する人が多いのかも知れませんが、また、つたない卓話となりはなはだ恐縮ですが、最後までお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。それでは早速ご報告致します

➤ 第1回中長期クラブ戦略委員会

開催日時：令和7年7月30日13時45分～14時45分

出席状況：委員6名中5名出席

協議事項：委員の拡充と今年度のテーマ

委員会構成の拡充と今年度のテーマについて、多岐に渡り活発な意見交換を実施しました。慎重協議の結果、当該委員会構成を当初の6名から8名に拡充しました。そして、今年度のテーマを

①高槻ロータリークラブの事業・会計及び財務の改善

②適正な会員数と会員拡大

とし、次回以降、原則・毎月1回、最終週に開催。幅広く議論を尽くす事と致しました。

➤ 第2回中長期クラブ戦略委員会

開催日時：令和7年8月27日13時45分～14時45分

出席状況：委員8名中7名出席

協議事項：直近3カ年の決算分析

この会合では、会計及び財務改善を検討するに当たり、高槻RC「直近3カ年決算状況について」の分析を行いました。本来5年間に遡り比較検討したかったのですが、2020-2021年度・2021-2022年度は、コロナ禍・緊急事態宣言の発令等により、かなりの頻度で休会或いはリモート開催を余儀なくされました。その影響でイレギュラーな決算状況となっている事から、2022-2023年度以降の直近3カ年を対象としています。分析の結果ですが、お手元に配布した参考資料- 1、2重線より左側の部・各年度の確定決算額をご参照下さい。収支の差額、1人当り費用A、1人当り費用Bいずれも赤字記載です。

今年度以降も現行会費を継続し、従来のクラブ運営を踏襲した場合、恐らく毎年赤字決算となる可能性が高い事が推測出来ます。その為次回以降の会合では、「収支を均等させ財務を改善する方法について」具体的な内容を協議する事になりました。

➤ 第3回中長期クラブ戦略委員会

開催日時：令和7年10月1日11時～11時55分

出席状況：委員8名中6名出席

協議事項：財務改善の具体的な方向性

この会合では、前回実施した分析結果を参考に「財務改善の方法について」具体的な方法を検討しました。多角的な観点から活発な意見交換を行い、最終的には4つの方向に分類・集約出来ました。

- ・クラブ運営の効率化により収支を改善する
ここで言う効率化とは、例会頻度の軽減を前提としています
- ・会員拡大を図る事により収支を改善する
- ・会費の増額改定により収支を改善する
- ・特別費（周年積立金）を凍結する事により収支を改善する

以上4つの方向性に於いて、今回の会議までに参考資料を策定し、その内容について精査する事を結論付けました。

➤ 第4回中長期クラブ戦略委員会

開催日時：令和7年10月22日13時45分～14時45分

出席状況：委員8名中7名出席

協議事項：財務改善・4つの方向シミュレーション

この会合では、分類・集約された4つの方向性の内、クラブ運営の効率化・会員拡大・会費増額について、それぞれ設定条件を設けシミュレーションを実施しました。参考資料-1 右側の部・収支均等に関する試算をご参照下さい

黒字で記載の試算-①

設定条件は、今年度の会員数49名で現行会費26万円を継続した場合、どの程度・例会頻度の減免が必要なのかを試算しています。例会費をターゲットに模擬計算を行いました。

その結果、例会頻度を概ね月/4回から月/3回に変更。25%減免する事により、収支の差額がプラス計上となりました。

次に青字で記載の試算-②

設定条件は、現行会費26万円を継続し現在のクラブ運営を踏襲する場合、収支均等に必要な会員数を試算しています。

今年度の会員数49名から2名づつ加算して行き、その都度模擬計算を繰返した結果、65名迄会員を増強すれば漸く収支の差額がプラス計上となりました。

続いて緑字記載の試算-③

この試算では、設定条件（特に会員数の変動）により、結果は大きく異なります。そこで今年度の会員数を参考に収支均等に必要の改定金額を試算したところ、会費を消費税相当分（約10%程度増額）28万5千円に改定し、更に会員数を50名確保出来れば、収支の差額がプラス計上となりました。

尚、各科目の算出根拠ですが、変動的な要素と固定的な要素に大別して計算しております。詳細は裏面の算出根拠に関する個別注記に記載していますので、ご参照の程宜しくをお願いします。

以上ここまでが、11月5日開催の定例理事会に報告さ

せて頂いた内容ですが、まだ時間を残していますので、今、我々の周りで確実に起きている事を踏まえ、補足しておきたいと思います。

我国の総人口は、2004年をピークに、その後2006年から減少が始まり今日ではその傾向に益々拍車が掛かっています。ちなみに直近の総務省の統計では、総人口1億2337万人。日本人人口に限れば1億2065万人、前年同期に比べて91万人弱減少しています。

そしてこの後も減少傾向が続き、2070年頃には「9000万人を割込むまで減少する」と推計されています。その際の特徴として高齢人口が増加、生産年齢人口・若年人口共に減少し、その結果、高齢化率は40%にまで上昇します。実はこの変化、千年単位で見ても類のない急激な減少です。

一方、日本のロータリークラブでは、1996年時の約13万人をピークに、その後現在に至るまで会員数の減少には歯止めがかかっていません。2025年の会員数は8万3千9百人強。ピーク時と比較して、この間・30年足らずで約35%もの会員が減少した事になります。

そして、高齢化が急速に進んでいる現状も日本の人口推移と酷似しており、ロータリークラブの現状は「日本の縮図である」と言えるのかも知れません。

ところで、高槻ロータリークラブの場合、この間・会員の増減はどうなっていたのでしょうか？ 参考資料-2をご参照下さい。

この表は、過去30年間の会員数の動向について纏めたものです

42年度の期首会員数は70名。30年後・昨年71年度での期末会員数が48名となり、日本のロータリークラブの会員減少傾向とほぼ一致しています。但し、10年単位で見た場合、それぞれ状況が異なります。

42年度～51年度の10年間では、増減数＝－23名

52年度～61年度の10年間では、増減数＝＋2名

62年度～71年度の10年間では、増減数＝－1名

結果としてピーク時以降、最初の10年間で激減しその後20年間殆ど変わっていない現状が見て取れます。この事実を踏まえ幾つかの視点で考える必要があるのだと思っています。

一つには会員基盤の拡大と言う視点です。

従来から「収支均等を会員増強でカバーする」と言う考え方があります。確かに会員数を65名まで拡大出来れば、試算-②が示す様に収支はバランスする筈です。ですが過去30年の事実と照らし合わせて考えた場合、現実的にはかなりハードルが高い様に思えてなりません。

二つには会員数減少の可能性です。

当クラブでは過去20年間、会員数の横ばい状態が続いています。但し、42年度から51年度までの10年間に会員数が激減した様に、今後将来の10年間に向かって、再び会員数が減少する可能性は否定出来ません。

仮に減少が一時的であれば良いのですが、その状態が継続的に続く様であれば、会費の増額は避けて通れない・喫緊の課題となるのかも知れない。現状会員増強では一進一退・苦慮していますが、最低限、今年度期首の会員数（50名以上）は、是非とも堅持したいものです。

それではいよいよ最後となります。

人が何かの物事を選択する時、通常はその両者を比較して「相対効果」に基づいて判断しています。しかし実際のところ、物の価値は状況によって変化します。例えば、1万円と100円玉では金銭的な価値は明白です。ただ壊れた缶コーヒーのブルトップをこじ開けたい時、この場合は100円玉のほうがテコ具としては有効です。また、コップ1杯のオレンジジュースと大ジョッキ1杯の水。

通常の状態ではオレンジジュースを選びます。但し、猛烈に喉が渇いている時には後者を選ぶ筈です。この様に我々は背反する選択の中で暮らしている訳ですが、実はここに大切なポイントが隠されている気がしています。私達が物事を選択・判断しそして行動する際、「物事の価値が状況によって変わる事」を意識しないでいると、それが当初は最善の選択であると思っていても、知らない間に状況が変わって、気が付けば大失敗している事があります。だからと言って根拠のない選択や判断で行動して行けば、これもやはり大きな失敗に繋がります。この度、中長期クラブ戦略委員会より理事会宛に、財務改善の為の4つの方向性についてご報告させて頂いておりますが、日常生活はもとより、ロータリーを含む全ての活動では状況の変化は皆無ではない為、今後どう言った対策を講じるにしても「物事の価値は状況によって変わる事」を踏まえた上で、検討する必要があるのだと思います。

卓話を終了するに当たり、会員の皆さんに改めてお願いがあるので聞いて下さい。今日ご報告させて頂いた「財務改善の方向性」について、本日現在・今年度理事会で継続審議となっています。その為理事会からは、会員の皆さんからより幅広い意見を集約したい旨伺っております。そう言った理由から、配布した参考資料をお持ち帰り頂き、後日時間のある時に再度検証をお願い致します。そして、気になる点や参考意見等をお聞かせ願えれば幸いです。皆さんからの多様な助言なりアドバイスをお待ちしています。以上で本日の卓話「中長期クラブ戦略委員会・上期中間報告」を終了します。堅苦しい話に最後までお付き合い下さり心から感謝です。ご清聴、ありがとうございました

◎ニコニコ箱報告

- ・皆出席内祝 橋本君、伊藤君、尾崎君（よいお年を！）
- ・つたない卓話をお聞き下さりありがとうございました。 河合君

本日の合計	¥ 20,000-
7/1 よりの累計	¥1,030,000-

◎R 財団への寄付（年次）

河合 一人君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥ 5,000-
7/1 よりの累計	¥ 465,000-
一人当たり平均	\$ 66.81

◎R 財団への寄付（ポリオ）

本日の合計	¥ 0-
7/1 よりの累計	¥ 35,000-
一人当たり平均	\$ 5.03

◎R 財団への寄付（恒久）

芦田 泰弦君 ¥ 5,000-（皆出席の表彰をありがとうございます。）

本日の合計	¥ 5,000-
7/1 よりの累計	¥ 85,000-
一人当たり平均	\$ 12.21

◎米山奨学会への寄付

本日の合計	¥ 0-
7/1 よりの累計	¥ 310,000-
〔 会員より	¥ 190,000-〕
〔 クラブより	¥ 120,000-〕
一人当たり平均	¥ 6,458-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥ 0-
7/1 よりの累計	¥ 25,000-



◎12/17 卓上花

ガーベラ

..... 希望・前向き

ヒバ

..... 固い友情・長寿

カスミ草

..... 感謝・幸福

